

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 35

★ 来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問 戦時中の子どもの「戦争ごっこ」が具体的にどのような遊びであったのか。

答 「戦争ごっこ」「兵隊ごっこ」「子どもの遊び」等をキーワードとして、
ことば検索を使って、幅広く検索してみます。

例 : → → → (9件該当)

* 「子どもの遊び」で検索するときは、「子供の遊び」「子どものあそび」等、
漢字・ひらがなを変えて検索することをお勧めします。

該当資料の中で、具体的な説明があったものは、
『尋常小学校ものがたり』(376.2 Ta65 開架資料)
『童遊文化史 第4巻』(384.5 H29 4 閉架資料)

また、この遊びで使用する玩具については、
『玩具叢書 玩具教育篇』(759 G19 閉架資料)
に写真が載っています。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

以前、出版されなかった本について書いたことがあります。戦時中には案外多かったものです。広告が出たけれど、終戦で出版できなかった本や、完成したのに空襲で焼けてしまった本などが沢山あります。その中でごく特殊な例として、グラビアページだけが「幻」と成ってしまった雑誌があります。

題名を「機械化」という雑誌で、陸軍省の外郭団体である、財団法人機械化国防協会が発行していた雑誌です。内容は陸軍の広報雑誌のようなもので、軍事技術の啓蒙雑誌でした。しかし、その中でも、未来兵器の記事が人気を呼んでいたようです。国民は、連日のように空襲を受けている中で、アメリカの爆撃機B29を撃退する夢の兵器にすがっていたのかもしれない。

この「機械化」の昭和20年3月1日発行の2月3月合併号が、問題の号です。印刷は何とか終わったのですが、製本直前にグラビアページが空襲で焼けてしまい、

刷り直すことも出来ないままに、製本発行されたものです。このコピーは、本文に貼り付けられていたもので、これが無ければ「落丁」として返品されてしまうために、急遽貼り付けられたものです。失われたグラビアページには、どんな記事があったのでしょうか。他にもこのようなケースが有ったのではないかと思います。紙もなく、雑誌を綴じる針金も無い。そんな状況でも、毎月雑誌を出しつづけようとしていた努力だけは、大変なものだったと思います。

さて、戦時中の出版物を調査していて、気になることがあります。それは、終戦の直前、直後の出版物です。8月15日の出版物は当然戦時中の本ですが、終戦後に、戦後の意識で出版された本の第1号は何でしょうか。興味があります。

(午睡)

—図書室から—

梅雨に入り、はっきりしない天気の日。夏至をすぎ、時折の晴れ間は夏を思わせる暑さです。そして、W杯に燃えあがったサッカー熱に季節も吹き飛ばすパワーを感じたのは、私だけではありませんよね！

* 入口に図書室予定案内板を設置しました。

当月と翌月(2か月分)の休館日と連絡を表示しています。入退出時には、ご確認ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 35

2002年6月23日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1